

# 前回常務委員会等における主な意見と市の考え方

■第1回常務委員会（5/22開催）・第1回都市計画審議会（7/10開催） 意見詳細は、会議録参照

## 1 人口動態と都市計画区域（居住誘導区域）の状況について … 参考資料 3-2

意見概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後の人口減少は間違いなく、やま（北部地域）とまち（中心部）の範囲や人口密度などを踏まえ、土地利用の方向性を考える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの都市づくりにより形成してきた一定の人口密度を有する居住誘導区域の維持を目指し、今後も人口動態に注視しながら、都市づくりを進めていきます。</li> </ul>

## 2 都市計画マスタープランの全体構成について … 参考資料 3-2、参考資料 3-4

意見概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民と「考える」から「目指す」だとあまり発展していない印象を受ける。「市民と共に創るまちの姿」などにしてはどうか。</li> <li>○1章の具体化と2章との関連性を明確にしたほうが読み手にもわかりやすい。</li> <li>○弱みや課題はどのように捉えているか。</li> <li>○都市づくり戦略の前提となる、目指すべき土地利用の考え方を明確に記載したほうがよい。</li> <li>○計画の「主語」について整理をお願いしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○序章の課題、1章の具体化、2章の目指すべき土地利用を踏まえた全体構成を整理しました。引き続き、わかりやすさに留意しながら、計画書の充実を図っていきます。</li> </ul>

## 3 災害リスクと居住誘導区域の設定について …参考資料 3-2、参考資料 3-5、参考資料 3-6

意見概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>○居住誘導区域は、居住を推奨する区域であり、災害リスクの高い区域は誘導区域から除外することが原則である。既成市街地等では得ない場合はリスクの低減策などと合わせて検討すべき。</li> <li>○計画規模（1/100）で浸水深3m以上の区域について、世帯数や人口はどの程度か。避難施設や避難経路、周知方策、高齢者の居住状況などの情報を踏まえ、判断すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画規模（1/100）で浸水深3m以上の区域について、詳細を確認し、居住誘導区域に含まない方向で検討を進めていきます。</li> <li>○災害リスクの低減策については、防災指針の取組方針（資料3）でお示しします。</li> </ul>

## 4 住民説明の考え方について … 参考資料 3-2

意見概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの計画策定においては、中学校区単位での説明会などもあったと思うが、今回の改定における住民説明はどのような考えか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回の改定以降ワークショップや社会実験等によりまちづくりを進めてきた経過を反映するとともに、パネル展示を行い意見交換する形式を検討しています。</li> </ul>

## 5 その他の意見について … 継続して検討

<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市部の暮らしを考える上で、やまのもつ自然資源は非常に重要であり、現行計画に記載のある「里地・里山の保全」を前提に「やま」らしさを活かす取組を期待する。</li> <li>○「景色」を創ることについて、単なる賑わいだけの一過性の活動とならないよう「景色」として市民に認識してもらえるような場になれば良いと思う。公園については、公園らしくありながら、新たな魅力を最大化するような形で公民連携に取り組んでほしい。</li> <li>○彩都について、企業立地が進んでおり、今後も開発が進むことも記載したほうがよい。</li> <li>○都市拠点を中心に歩いて暮らせる環境整備など、現在進めているウォーカブル関係の取組もわかりやすく整理できるとよい。</li> <li>○都市構造の更新について、隣接市との整合を図ることが望ましい。</li> </ul>
---